

## 2008年度受託研究概要報告

# 「KOBEショップデザイン賞」 募集要項のデザイン研究

## 研究メンバー

かわいひろゆき デザイン学部ビジュアルデザイン学科教授

## 委託者

神戸市

### 1 あらまし

神戸市は、デザインの視点から新たな魅力と活力を創りだし暮らしを豊かにする「デザイン都市・神戸」の一環として、市内にあるデザイン面で魅力的な店舗を募集し、表彰・認定する「KOBEショップデザイン賞」を立ち上げた。この賞は、優れたデザインの店舗を表彰・認定するとともに、店舗づくりに携わったデザイナーを広く紹介することにより、ショップデザインを身近に感じてもらうことを目的としている。

応募条件は、神戸市内で現在開業している店舗で、ショップに関わる人（オーナーや店舗デザイナーなど）の自薦のほかに、一般の人による他薦も可能というのがユニークで面白い。また、部門が業種別に、物販・サービス部門と飲食部門のふたつに分けられているのも特徴である。

本研究は、神戸市が初めて取り組む、市内店舗のデザイン性を問うコンペの募集要項のデザイン開発である。

### 2 業務内容

本研究の内容は、ふたつに大別される。ひとつは、コンペのタイトルである「KOBE SHOP DESIGN AWARD 2008」のロゴ・デザインの開発。もうひとつは、募集要項そのもののデザインである。

まず、タイトル「KOBE SHOP DESIGN AWARD 2008」のロゴ・デザインは、コンペの内容がデザイン性を問うものだけに、できるだけ偏りのないニュートラルなイメージで、なおかつセンスよくということに留意した。タイトルのデザインが応募のデザインの傾向を限定するようなことのないようにしなければならぬし、かといってデザイン・コンペのロゴ・デザインの質がよくなければ、応募意欲もわかないだ

ろう。

募集要項のデザインもロゴ・デザインと同じことがいえる。特に表紙のデザインは、偏った強い個性を主張しないようにしながら、それでいて手にとってもらえるように配慮した。

### 3 まとめ

成果物はおおむね好評で、一番苦慮した、主張しすぎないように主張するというさじ加減も、ほぼ狙い通りにうまくいった。

また、「KOBE SHOP DESIGN AWARD 2008」のロゴ・デザインは、このあと、ネットや表彰状、記念品などさまざまなものに二次使用された。



写真1 「KOBE SHOP DESIGN AWARD 2008」募集要項